



発行：青森市教育委員会事務局文化学習活動推進課  
〒030-0801 青森市新町1丁目3-7  
TEL：017-718-1376 FAX：017-718-1371  
E-mail：bunkagakushu@city.aomori.aomori.jp

## つながり合う！学校と地域 ～社会と協働するこれからの学校教育～

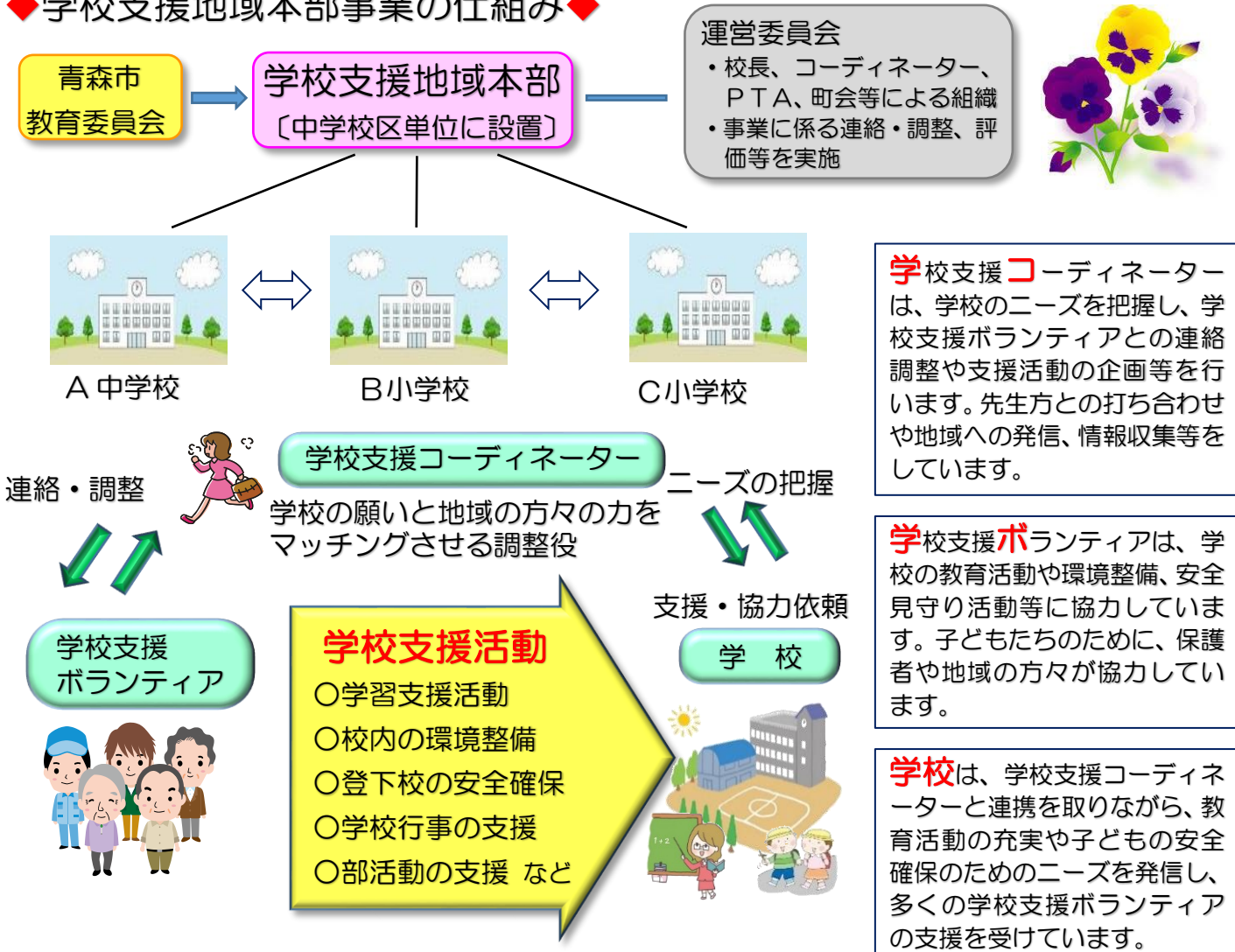
市では、学校と地域社会とが連携し、子どもたちの学びを支援する体制づくりを推進しています。学校支援ボランティア情報誌「てとて」では、「地域に開かれた学校」「学校を核とした地域づくり」の視点に立って取り組んでいる色々な活動の様子や活動のヒントをお伝えしていきます。

### 市内全部の小・中学校で 学校支援地域本部事業実施

平成 20 年度からスタートした本事業は、今年度から全ての小・中学校で実施されることになりました。

19地区； 小学校 45 校、中学校 19 校

#### ◆学校支援地域本部事業の仕組み◆



## インタビュー

今年度から、学校支援地域本部事業に取り組む学校の校長先生に、この事業を、学校経営にどのように生かしていきたいかなど、今後期待されていることをお聞きしました。

青森市立篠田小学校  
校長 手塚理香子 先生

学校支援コーディネーター  
青松亜弥さん



本校はPTA活動が盛んで、読み聞かせや運動会などの学校行事の手伝い、花壇整備などを積極的にいただいています。

これからは、地域の中にある開かれた学校として、学校と地域が互いに関わりながら、教育活動を進めていくことが大事だと思います。

また、そうすることによって、学校課題や地域課題の解決につながっていくと思います。

学校支援コーディネーターの青松さんは、本校児童の保護者であり、学校や地域とつながりを持っている方なのでとても期待しています。

事業スタートの年として、ボランティア名簿の作成から始めて、ゲストティーチャーを活用した多様な活動や部活動などへの協力が得られると、とてもありがたいと思っています。

青森市立横内小学校  
校長 原 昌志 先生

学校支援コーディネーター  
中野ゆかりさん



4月早々に、横内中学校と兼任していただいている中野コーディネーターと打ち合わせ、保護者と地域の方々へ、年間を通しての各種活動へのご協力の依頼をしていただいたところ、ボランティアとしてご協力いただける方がたくさん申し出てくれました。活動内容としては、登下校の見守り、学校行事や校外学習の引率補助、家庭科のミニ学習補助、スキー学習の補助、読み聞かせや図書室の環境整備、外国語活動の補助、部活動の指導や見守りなどを予定しています。

本校は保護者や地域の方々の学校への協力が素晴らしく、今まで活動してこられた方々も、学校支援ボランティアとして改めて登録させていただきました。これを機に、保護者や地域の方々とこれまで以上に学校支援の輪を広げていきたいと考えています。

### ◆ボランティア募集のためのヒント

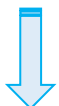
多くの学校では、学校支援コーディネーターの皆さんが中心になって学校支援ボランティアを募集したり、学校支援ボランティアリストを作成したりしています。学校や地域によって活動内容は多種多様で、色々な工夫がなされています。今回は、その一例をご紹介します。

○学校のニーズ把握



校長先生や教頭、教務主任等との話し合いで、どのような支援があればよいか、年間を見通して学校のニーズを把握するようにします。※学校から具体的にニーズを示していただくとコーディネーターが活動しやすいです。

○依頼文書作成・発送



学校のニーズを基にして、学校支援ボランティアリスト作成のための依頼文書を作成し、保護者に発送します。通知には、保護者以外の方の情報も記入する欄を設けるようにしています。最初の募集は、校長の名前で発送する学校が多いです。

○ボランティア  
リスト作成

保護者からの回答をまとめ、ボランティアリストを作成します。リストは教職員にも配布します。

学校からボランティア募集についての依頼文書発送する他、学校だよりに掲載し町会の回覧版で呼びかけたり、コーディネーターが地域の色々な会議に参加する際、周知・協力をお願いをしたりしています。依頼文書の具体例は、「ボランティア募集チラシ等事例集」をご覧ください。